



令和5年度第1回神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会  
資料4

# 報告：令和4年度リハビリテーション委託事業の 実績報告

神奈川県リハビリテーション支援センター  
令和5年 9月 19日

# 目次：

1. 神奈川県リハビリテーション支援センターの概要
2. リハビリテーションの相談対応・情報提供
3. リハビリテーション従事者等を対象とした研修

# 1. 神奈川県リハビリテーション支援センターの概要

平成13年3月：国の「地域リハビリテーション推進事業」に基づき「神奈川県リハビリテーション協議会」を設置

平成14年5月：リハビリテーション協議会は、「神奈川県地域リハビリテーション連携指針」を策定

「連携指針」に基づき、社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団を「神奈川県リハビリテーション支援センター」に指定

平成14年6月：神奈川県総合リハビリテーション事業団は、「地域支援センター」を設置し業務を受託

平成28年4月：「地域リハビリテーション支援センター」に名称変更

平成29年9月：「神奈川県地域リハビリテーション連携指針」の改定版を作成

令和 3年4月：「神奈川県在宅医療推進協議会」の部会に位置付けを変更

# 1. 神奈川県リハビリテーション支援センターの概要

## 神奈川県リハビリテーション支援センターの組織

### 配置

所長・副所長各1名 (Dr・PT)

地域リハビリテーション支援室      専従・兼務      計10名

専従：PT・OT・MSW・事務職

高次脳機能障害支援室      専従・兼務      計 7名

\* 高次脳機能障害支援室

所管：神奈川県福祉子どもみらい局障害福祉課

## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

### リハビリテーション専門相談

リハビリテーション専門相談は、神奈川県リハビリテーション支援センターの専門スタッフが**市町村及び地域のリハビリテーション関係機関と協働して総合相談・情報提供・技術支援などを実施するもの。**

目的は、課題の解決のみならず、相談事例を通して医療・介護・福祉等の連携を図ることで、**地域の状況に応じた、地域包括ケアにおける地域リハビリテーションシステムの構築を目指すもの。**

相談支援の活動では制度間の枠を超えた多職種・多機関による包括的アプローチを行うことで、**地域にあるリハビリテーション資源を積極的に活用し、自立支援の観点を中心としたケアプランや個別支援計画の作成などに寄与するもの。**

## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

令和4年の**総相談件数は188件**（前年度127件）であった。

**新規相談件数107件**（前年度76件）であった。

**訪問件数は延べ26件**（前年度12件）であった。

令和4年度の傾向として、視覚障害に関する相談件数の増加があった。神奈川県眼科医会の協力を得て視覚障害、ロービジョンの相談を受けている。

## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

リハ専門障害別	件数	構成比
視覚障害	42(23)	22.4%
知的障害	27(20)	14.4%
脳性麻痺	23(13)	12.2%
神経・筋疾患	23(28)	12.2%
脊髄障害	21(9)	11.2%
脳血管障害	21(11)	11.2%
後天性脳損傷 (除く脳血管障害)	14(6)	7.4%
骨関節疾患	4(7)	2.1%
その他	12(10)	6.4%
不明	1(0)	0.5%
合計	188(127)	100.0%

・障害別では、視覚障害、知的障害、脳性麻痺、神経・筋疾患、脊髄障害、脳血管障害が多い。

## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

リハ専門依頼元	件数	構成比
本人家族	59(24)	31.3%
障害者施設	46(26)	24.4%
障害者相談支援事業所	21(15)	11.2%
訪問看護事業所	15(12)	8.0%
居宅介護事業所	11(19)	5.9%
高齢者施設	10(5)	5.3%
教育機関	8(0)	4.3%
医療機関	6(8)	3.2%
市町村	5(4)	2.7%
地域包括支援センター	2(8)	1.1%
保健福祉事務所	1(4)	0.5%
訪問介護事業所	1(0)	0.5%
障害者更生相談所	0(0)	0.0%
その他	3(2)	1.6%
合計	188(127)	100.0%

・依頼元別では、本人家族、障害者施設が多い。

・本人ご家族からの相談については、地域の関係機関(者)と連携を取り、地域で継続して対応できるよう配慮している。

・地域のサービス機関との協働して対応している。



## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

圏域	件数	構成比
県央	55(61)	29.3%
湘南西部	37(14)	19.7%
湘南東部	27(6)	14.4%
県西	16(11)	8.5%
横須賀・三浦	13(14)	6.9%
相模原市	13(8)	6.9%
横浜市	22(7)	11.7%
川崎市	1(4)	0.5%
県外	4(2)	2.1%
合計	188(127)	100.0%

- ・圏域別では県央・湘南西部が多い。
- ・当センター近隣圏域が多い。
- ・横浜・川崎・相模原の政令市からの依頼は、原則として各リハセンタへ繋いでいる。
- ・県外においても、同様の対応を行っている。

## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

訪問・来所の主たる目的	件数	構成比
補装具・福祉用具機器	9(5)	32.2%
介護指導	4(4)	14.3%
訓練プログラム指導	4(2)	14.3%
コミュニケーション支援	4(0)	14.3%
ADL指導	3(4)	10.7%
支援内容検討	2(1)	7.1%
環境整備	2(1)	7.1%
医療	0(0)	0.0%
その他	0(0)	0.0%
合計	28(17)	100.0%

・訪問・来所対応は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い件数は少ない。

・車いすや装具・福祉用具の適合・使用方法・工夫などの助言が多い。

・電話相談等相談全体においても補装具・福祉用具の相談は多い。

## 2. リハビリテーションの相談対応・情報提供

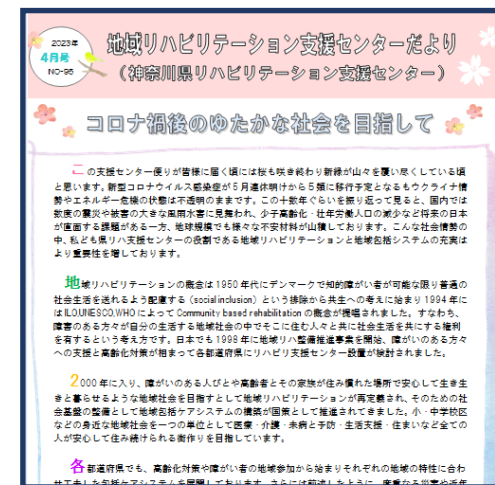
### 情報提供

ホームページ上で県内のリハビリテーション関係機関情報、リハビリテーション専門研修の開催案内及び募集、広報誌「地域リハビリテーション支援センターだより」を掲載している。

アクセス数は、45,377件(前年度49,602件)であった。

「地域リハビリテーション支援センターだより」は、A3版両面で、研修や専門相談の事例紹介などを掲載し、県内70機関あまりへ年6回配布している。

メール添付による提供や他の媒体の利用など要検討。



### 3. リハビリテーション従事者等を対象とした研修

## 地域リハビリテーション連携構築推進事業 (令和3年度より実施)

#### 基本計画

県内2カ所において各2回の研修会等の実施。  
各回25名の参加者を想定。

#### 対象地域

令和4年度は、鎌倉市及び秦野市の2カ所で実施した。

\* 地域リハビリテーションフォーラムから移行事業

# 3. リハビリテーション従事者等を対象とした研修

## 実施テーマ

### 鎌倉市 対面・オンライン(ハイブリッド)開催

## 「今一度知ろう 地域ケア会議における リハビリテーション職の役割と可能性に ついて」

参加者 45名

\* 2日目は新型コロナウイルス感染症拡大に伴いオンライン  
のみの開催に急遽変更

2022年度 神奈川県地域リハビリテーション連携推進事業研修

**今一度知ろう 地域ケア会議におけるリハビリテーション職の役割と可能性について**

地域ケア会議は、参加者それぞれの専門性や期待されている役割などをあらかじめ共有していることが重要です。今回の研修は、リハビリテーション職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の地域ケア会議における役割と可能性について講義を通して学び、機能訓練などの医療・介護保険上のサービス以外の役割についても理解を深めます。また、模擬ケア会議では、参加職種の仕事内容を説明し合うだけでなく、ケースを通して、他職種の役割についてより理解を深める機会になることを目的としています。

**プログラム 1日目 (1日目のみ Zoom 参加が可能です)**

時間	内容	講師
18:00 ~	オリエンテーション	
18:05 ~ 18:25	ケア会議における理学療法士の役割と可能性について	合同会社 クゴリハ代表 久田 浩幸氏
18:30 ~ 18:50	ケア会議における作業療法士の役割と可能性について	一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事 医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院 吉本 雅一氏
18:55 ~ 19:15	ケア会議における言語聴覚士の役割と可能性について	神奈川県言語聴覚士会理事 医療法人社団 博愛会 介護老人保健施設 にしの丘 足柄 舟橋 庄司氏
19:20 ~ 19:40	神奈川県リハビリテーション支援センターの役割と可能性について	神奈川県リハビリテーション支援センター 小川 淳氏

**プログラム 2日目 (1日目の講義に参加した方のみ受講可能)**

18:00 ~ 20:00	模擬ケア会議、発表・ディスカッション・質疑応答	司会進行 前田 玲氏 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 地域包括ケアシステム推進部 社会医療法人社団 三思会 介護老人保健施設 さつきの里 あつぎ
------------------	-------------------------	--

- 開催日 1日目 2022年11月30日(水) 18:00 ~ 20:00 (受付 17:40~)  
2日目 2022年12月14日(水) 18:00 ~ 20:00 (受付 17:40~)
- 研修会場 鎌倉商工会議所 301号室 (〒248-0012 鎌倉市御成町 17-29)  
\*駐車場がありません。お近くのコインパーキングをご利用ください。
- 定員 会場参加40名(1日目のみ Zoom 参加も可能⇒100名まで)  
1日目のみの参加も可能です。  
2日目は1日目に参加された方のみ受講可能です。
- 受講条件 ワクチン3回接種を条件とします(2回または未接種の方はご相談ください)。
- 受講料 無料
- 対象 制限なし(医療職・介護職・福祉職・行政職・他一般の方も参加可能)
- 申込方法 ・インターネットから「地域リハ支援センター」を検索  
・QRコードの読み取り  
・Fax:裏面の用紙に必要事項を記載の上お申し込みください。
- 受講の可否 受講日の約2週間までにメールアドレスにご連絡いたします。  
(応募多数の場合、選考にて決定させていただきますことをご了承ください)

会場参加は、コロナ感染予防のため、事前の健康チェック(7日間)をお願いしています。  
また、当日は体調確認・手指や使用物品の消毒・室内の換気など、感染予防対策を実施します。

# 3. リハビリテーション従事者等を対象とした研修

## 実施テーマ

秦野市 対面・オンライン(ハイブリッド)開催

「障害福祉グループホームにおけるリハビリテーションの可能性について」

参加者 75名

秦野市のグループホームにおけるネットワーク作りのきっかけとなった。

秦野市 障害福祉

グループホームにおける  
リハビリテーションの可能性について  
グループホームのネットワークと地域での連携に向けて

第一部 2023年1月23日(月) 13:00~15:00  
第二部 2023年2月10日(金) 13:00~15:00

\*どちらか1日の申し込みでも可能です。

会場 秦野市本町公民館(秦野市入船町12-2) 多目的ホール  
\* オンライン (Zoom) 参加も可能です。

対象 グループホーム関係者、障害福祉・介護保険関係者、  
訪問看護、訪問リハ関係者など(秦野市以外の方も大歓迎です)

受講料 無料 (ホームページまたはFaxでお申し込みください)

募集人数 50名(オンライン参加は100名まで)

第一部 グループホームをとりまく状況と多職種連携について

- 市内障害福祉グループホームをとりまく状況と今後について  
秦野市障害福祉課 石川 貴美子 氏
- グループホームの生活に多職種を介介させていく有用性  
社会福祉法人かむ 岸 茂子 氏
- リハビリテーション職を導入してみてよかったこと  
社会福祉法人ピーハッピー 渡邊 美佐緒 氏

第二部 リハビリテーション連携と利用計画への実践

- 知的障害者の身体機能低下について  
地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 小泉 千秋 氏
- リハビリテーション専門職からみた介入の意義  
ケアーズ訪問看護リハビリテーションみなせ 作業療法士 遠藤 謙一 氏
- 障がい利用計画に反映させるために  
秦野市地域生活支援センター 小池 憲一 氏
- 神奈川県共生推進本部よりメッセージ  
神奈川県庁 道鉢 正成 氏

協力 秦野市、社会福祉法人常成福祉会、秦野市地域生活支援センターはれっとはの  
主催 神奈川県総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター 神奈川県

# まとめ

## ○ 相談・情報提供

- ・ 相談・情報提供共に利用数の増加に努める。
- ・ 情報の内容や媒体を含め検討する必要がある。  
(事例紹介など)
- ・ 周知については、福祉・介護保険関係機関への働きかけが必要である。

## 参考 北九州市リハビリテーション相談支援実績

相談件数			
相談元	東部支援センター	西部支援センター	計
居宅介護支援事業所	27	24	51(14.3%)
<b>地域包括支援センター</b>	<b><u>157</u></b>	<b><u>149</u></b>	<b><u>306</u></b> <b>(85.7%)</b>
相談件数	184	173	357
同行訪問	136	159	295(82.6%)
福祉用具適正利用に向けた点検事業			
	東部支援センター	西部支援センター	
居宅介護支援事業所	109	85	
地域包括支援センター	115	47	
相談件数	224	132	
	356		

出展：一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会活動報告



# まとめ

## ○リハビリテーション従事者等研修

- ・地域や職域のニーズを知る必要がある。特に「地域リハビリテーション」、「地域包括ケア」、「地域共生社会」の充実を目的とした場合、障がい福祉領域との連携は必須である。
- ・神奈川県自立支援協議会などの他の協議会との連携・協働の必要がある。

以上です。

詳細は、「事業報告書 令和4年度」  
社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団  
地域リハビリテーション支援センター  
(神奈川県リハビリテーション支援センター)  
をご覧ください。

※ 事業報告書が届いていない場合は、神奈川県リハビリテーション支援センターまでご連絡ください。

